

第4会場●4F 大研修室

■司 会／久保田啓子 山口県長門市教育委員会 社会教育指導員
藤岡 忠司 福岡県教育庁南筑後教育事務所 主任社会教育主事

分科会の進め方

13:45~13:50

1 コミュニティ・スクールのその先へ

13:50~14:20

前田 亜樹(山口県下関市) Kananowa 代表

難病のため35歳という若さで亡くなられた教師、荒木佳奈さんの命のバトンを受け取り、2016(平成28)年6月「Kananowa」を設立。命の大切さを伝えるとともに、佳奈さんの教育への想いを、地域・社会の中でかたちにしていくために、学校・家庭・地域が協力して行う照子親(てらこや)活動を行っている。

主な活動としては、「自然体験学習」「夏休みのお勉強会」「夜のお勉強会」などがある。また「地域連携カリキュラム」を活用した授業作りなども積極的に取り組んでいる。

2 「ながさきファミリープログラム」で学ぶ楽しい子育て

14:30~15:00

永田しのぶ(長崎県) ながさきファミリープログラムファシリテータの会 会長

長崎県では、家庭教育支援事業として、子育ての不安や悩み等について参加者同士が楽しい雰囲気で話し合う子育て学習プログラム「ながさきファミリープログラム」を推進している。

本会では、その進行を務めるながさきファミリープログラムファシリテーターが自主的に集い、研修をしたり交流を行ったり情報交換をすることで、ファシリテーターの資質向上を図っている。また、長崎県教育庁生涯学習課と連携を図り、県内全地域において、「ながさきファミリープログラム」の普及を目指している。

ティータイム

15:00~15:30

3 「学校の学び」と「地域の実践」の往還 ～益田をしあわせなまちにしようプロジェクトによる「社会に開かれた教育課程」の実践～

15:30~16:00

谷上 元織(島根県益田市) 益田市立益田小学校教諭
三浦 裕美(島根県益田市) 益田公民館 主事

今！注目の「社会に開かれた教育課程」の実践報告。学校の学び（総合的な学習の時間の「益田をもっとしあわせなまちにしよう」）で児童から上がってきた提案を、学校だけで完結させず、「公民館」が受けて、地域の課題解決・実践として学校外の実践につながるようにプロジェクト化している。

その活動は「益田小学校」と「益田公民館」を中心にして、地域の有志、保護者、近隣の大学生達とともに創られる。「学校での授業で全員が学び、地域において有志が実践」の手順・手法は今後の参考モデルである。